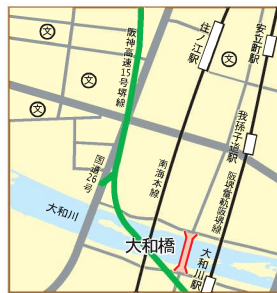


住之江区の都市景観資源

大阪市では、住之江区の都市景観資源の発掘のため、「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成24年12月21日に10件を都市景観資源に登録しました。

1. やまとばし 大和橋



◆所在地

住之江区安立4丁目～堺市

◆概要

大阪市と堺市を結ぶ大和橋は、大和川の開削と共に宝永元年（1704年）、紀州街道が川を渡るところに架けられた公儀橋であり、当時、大和川にはこの橋しかなかった。洪水のたびに修復が繰り返され、明治18年の大洪水によって大きな被害を受けたため、大正5年に大阪府の手によってはじめて鉄橋に架替えられた。現在の橋は昭和49年（1974年）に架替えられ、橋長192.00m、幅員9.50mの斜張橋である。

2. あんりゆう 地蔵尊のある風景（安立連合町会のなかの紀州街道沿いのお地藏様）



◆所在地

住之江区住之江1丁目近辺
（紀州街道沿い）

◆概要

古い町並みが残る地蔵尊の風景は住之江区の大切な景観となっている。当地の「安立」という地名は、元和年間（1615年～1623年）に、名医として名を馳せた半井安立がここに居を構えたことにちなむ。多くの人とその治療を求めて集まり、いつしか町が形成されたといわれている。

3. 名村造船所大阪工場跡地



◆所在地

住之江区北加賀屋4丁目1番55号

◆概要

昭和6年（1931年）に稼働した名村造船所大阪工場の跡地が、当時の面影を残したまま、平成16年（2004年）、クリエイティブな活動をサポートする複合アーツスペース「CCO（クリエイティブセンター大阪）」として整備されている。名村造船所大阪工場跡地は、「ものづくり大国・日本」の礎として、また基幹産業のルーツとして大きな意義を持つものとして、平成19年（2007年）に経済産業省によって「近代化産業遺産」に認定されている。